

請願者  
住所  
電話  
紹介議員

## 学校における教職員の欠員解消をもとめる請願書

### 請願趣旨

深刻化している全国の公立小中高校などの教員不足が今年度はさらに増大しています。

学校現場に目を向けると、教員希望者の減少に加え、病気休職者の増加や早期退職者の増加など、深刻な教職員不足により子どもたちの学びに大きな支障を及ぼしています。この状況により、一部の学級では十分な授業が行えず、子どもたちの学力低下が懸念されています。また、教職員一人ひとりの業務負担が増大しており、それに伴うストレスや体調不良が発生しやすくなっています。このような状況が続くと、さらに多くの教職員が離職する可能性があり、欠員問題が悪循環に陥る恐れがあります。過労による体調不良が原因で病気休職者が増加し、教育現場の負担はさらに増大しています。

教職員の不足は子どもたちの教育環境にも悪影響を及ぼしています。授業の質が低下し、個別指導やサポートが行き届かなくなるため、子どもたちが十分な教育を受けられない状態が続いています。特に、特別な支援が必要な子どもたちに対する支援が不足しており、学力格差が拡大する恐れがあります。将来を担う子どもたちに質の高い教育を提供するためには、教職員の確保と充実が不可欠です。

さらに、教職員不足は地域社会全体にも影響を及ぼします。教育の質の低下は地域の魅力を損ない、将来的な人口減少や地域の活力低下に繋がる可能性があります。教育は地域社会の基盤であり、その質を保つことが重要です。教育の質が向上すれば、地域への定住促進や新たな住民の流入が期待され、地域社会全体の活性化に寄与します。

つきましては、地方自治法第99条の規定により、意見書の提出を請願いたします。

### 記

### 請願項目

- 1 教職員の定数改善計画を早急に策定し、欠員解消を図ること。
- 1 教育予算を拡充し、教職員の雇用を促進すること。
- 1 代替教員の確保を強化し、教職員の欠員を迅速に補う体制を整備すること。
- 1 教育環境の向上を図るため、教職員の研修やサポート体制を充実させること。

### 提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、財務大臣